

「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進 ～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

安武先生 中堅教諭研修をととして

1学期の宮先生に引き続き、今回は2年3組の安武先生が中堅教諭研修で研究授業を行い、福岡県教育庁福岡教育事務所の指導主事に助言をいただきました。

本時の授業はもちろん、子ども達の素敵な笑顔に隠された普段の授業の積み上げ、環境の整備、子ども達とのかかわり等、10年を節目とした中堅教諭としての資質・力量の高まりについて評価をいただきました。

私が一番関心をしたのが、指導主事から「発達支持的生徒指導という言葉を知っていますか」という質問を受けた際、「はい、これが本校の研究ですので」ときっぱりと答えたことです。安武先生は常日頃から、「子ども達のよさや意欲を引き出す投げかけ」「子ども達の安心につながる関わり」を意識した対話を行っています。子ども達の自己有用感や自尊感情を高め、共感的な人間関係を構築していこうとする日々の姿勢が表れている一言でした。

2学期は、これから多くの先生が授業研修にトライします。様々なキャリアステージや持ち味をもった先生から、授業を通して多くのことを学び、切磋琢磨していくチャンスです。



子ども達が落ち着いて生活できる環境



指導しなくても済む仕掛け



生活の見通しとともに子どもの誕生日が



A I を活用した効果的な導入



先生に引き付けられる子ども達



意欲を引き出す教師の投げかけ



教師の温かな関わりこそが
子どものモデル



自分そして友達のよさを
実感する子ども



学級のきらきらを
先生とともに実感する子ども